

ふくおか
市議会だより

目次

- ◆定例会のあらまし、花を見に行こう!…1面
- ◆一般質問…2面 ◆決算特別委員会の審査からなど…4面

平成29年第5回福岡市議会
(12月定例会)12/12
▼
12/20

- 職員給与の執行見込みの減額を含む一般会計補正予算案を可決

平成29年第5回福岡市議会(12月定例会)が12月12日から12月20日まで開かれました。この定例会では、市長から提出された議案40件が審議され、全て原案通り可決・承認・同意されました。

このほか、平成28年度決算関係議案25件が認定・可決されました。(4面に関連記事)

主な議案の内容は次の通りです。

定例会のあらまし

- 職員給与の執行見込みの減額などの一般会計補正予算 (議案第220号)
補正の総額は2億6995万5千円(減額)です。主な内容は、職員給与の執行見込みの減額などです。 (賛成多数)
- 地区計画及び集落地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 (議案第236号)
下原四丁目地区(東部市場跡地)および大名二丁目地区(旧大名小学校跡地)の地区計画区域における建築物の用途の制限、壁面の位置の制限など、建築物等に関する事項について新たに条例に追加するものです。 (賛成多数)
- 公の施設に係る指定管理者の指定 (議案第240号～第248号)
天神ふれあい通り自転車駐車場や市営住宅などの公の施設について、施設の

右の議案のうち、議案第220号・第236号・第240号・第241号・第243号・第245号・第248号・第250号に対して日本共産党福岡市議団から、議案第220号に対して福岡維新の会から、議案第220号・第236号・第245号・第248号に対し緑と市民ネットワークの会から、議案第236号・第245号・第246号に対し無所属議員1人から、それぞれ反対討論が行われました。

右の議案のうち、議案第220号・第236号・第240号・第241号・第243号・第245号・第248号・第250号に対して日本共産党福岡市議団から、議案第220号に対して福岡維新の会から、議案第220号・第236号・第245号・第248号に対し緑と市民ネットワークの会から、議案第236号・第245号・第246号に対し無所属議員1人から、それぞれ反対討論が行われました。

定例会の日程

12/12	本会議	●平成28年度決算関係議案(決算特別委員会委員長報告・討論・採決) ●議案(提案理由説明・質疑・常任委員会付託)
12/13・14・15	本会議	●一般質問
12/18・19	常任委員会	●議案審査等
12/20	本会議	●議案(常任委員会委員長報告・討論・採決)

答

本市に会社等で検診を受ける機会のない人を対象に、

問
回

問 病気の早期発見には、がん検診、健康診断が有効である

の助成に加え、不妊専門相談センタ－を設置し、不妊に関する相談対応や、不妊治療に関する知識の普及啓発に努めている。人工授精に対する独自助成については効果や他都市の状況を見ながら検討する。

七
七

（）不思議な事で、おまかせ大変重い

少子化対策の一つとして
不妊治療に対する支援の充実を
自 民

問 少子高齢社会を迎える中、
少子化対策にこれまで以上
に取り組まなければならない。保険
適用外の人工授精に対して本市独自
の助成を行つたり、不妊治療の課
題を発見し、不妊専門相談センタ
ーにおいていろいろなデータを蓄

答 住宅宿泊事業法の制定趣旨
や、法に業務の適正な運営を
確保する方策が種々規定されている
ことなどを総合的に勘案し、新たな
条例の制定は予定していない。市民
や事業者に法の趣旨を理解してもら
えるよう努め、無許可営業に対して
は県警とも連携し適切に対応する。

育士を対象とした家賃の一部助成や、インターネット特設ページの開

域の療育環境整備特に相談・諮詢機能を強化する必要もあり、さもざ

の保育所が保育士を追加で確保できれば、多くの児童を受け入れること

る。相談・診断機能を加えて、本市南部地域の障がい児支援の拠点と

区全体で教育環境の充実が図られるよう、議員の意見も参考にしながら、引き続き検討を進める。

待機児童の解消に向けた保育士確保の取り組み成果と課題は、保育所等の児童の受け入れ

松島小学校は、校区人口が増加の一途をたどり、今後も児童が増えていく。教育委員会は過大規模校の対応策について検討してほしい。子どもたちの教育環境をよくするためには、全校児童数が大きく影響するが、安心して子育てしやすいまちを目指す市長の所見を。

答 松島小学校は、今後の児童数を考慮しても、現在の教室数で対応できると考えるが、九年間で千人以上の児童が増えると、児童数が増えることによる問題が発生する可能性がある。そこで、児童数が増えることを前提として、現状の教室数をもとに、児童数が増える場合の対応策について検討してみたい。

国が定めた5つのがん検診と、本市独自の前立腺がん検診を実施している。国や他都市の状況を踏まえて、医師会等とも連携し、より効果的な手法について調査研究を進めることなど、がん対策の推進を図る。

過大規模校である松島小学校への対応について検討を

態調査や木材利用の手法の研究を行い、木材利用の促進を図る。

の振興による心豊かで活力あるまちづくりをどう進めていくのか所見を。

ており、本市も、実現に向けての努力を重ねていくべきだと考える

文化芸術の振興による心豊かで 活力あるまちづくりを

ためガイドラインの策定を
問
学校施設の木造化・木質化
の推進は、本市の林業・林
業を活性化させるための重要
な戦略の一つである。さまざま
な課題はあるが、横浜市では公共建
設

する」とができるようになります。雇用を引き上げ、自立を目指すことが大切であり、ユーバーサル都市・福岡の実現に向けた決意を問う。

●スタートアップ支援について

故について

力ある企業になる」と田的と
それによつて従業員の満足度や生
率の向上、企業のイメージアップ
人材確保に資すると考へる。より
多くの企業が取り組むよつて、啓発と
知り努め、事業を推進していく。

ふくおか「働き方改革」
推進企業認定事業の推進を
問 政府の働き方改革実現会議
は、長時間労働や正規雇用
労働者と非正規雇用労働者との格
の是正、子育て・介護と仕事の両
等に向けた実行計画を決定した。
市も、ふくおか「働き方改革」推進
企業認定事業を発表したが、実効性
の働き方改革とするため、より多
くの事業者に広げるべきではないか
本事業は、働き方改革の又

答 福岡トリエンナーレの再検討は、福岡市文化芸術振興ビジョンの改定を進める中で報告書として取りまとめ、説明する。文化芸術市民の心豊かな生活の礎となり、魅ある都市づくりを形成する上でも、変重要であり、さらなる文化芸術をかしたまちづくりに取り組む。

決算特別委員会の審査から

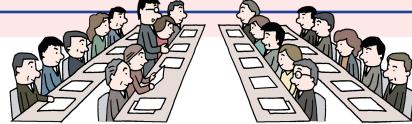
平成28年度の決算を審査するため決算特別委員会が10月5日から24日まで開かれました。

市長から提出された決算関係議案は決算議案21件、関連議案4件の計25件(一般会計1件、特別会計15件、公営企業会計9件)です。総会や分科会で審査した結果、すべての決算関係議案を全員賛成または賛成多数で認定・可決すべきものと決定し、12月定例会に報告しました。

※決算特別委員会総会の録画映像を、市議会ホームページやYouTube福岡市議会チャンネルに掲載しています。
※決算のあらまし・詳細については、市議会ホームページや市ホームページ・区役所・情報プラザ等で閲覧できます。
※市議会ホームページは「市議会★情報BOX」の「福岡市議会関係資料」に、市ホームページは「市政全般」の「予算・決算・市債・寄付等」に決算資料を掲載しています。

各会派の意見

- 自由民主党福岡市議団、公明党福岡市議団、福岡市民クラブ、みらい福岡市議団、福岡維新の会、自民党新福岡
決算関係議案25件すべてに賛成
- 日本共産党福岡市議団
一般会計、特別会計11件(後期高齢者医療など)、公営企業会計7件(モーターポート競走事業など)の議案に反対
- 緑と市民ネットワークの会
一般会計、特別会計12件(後期高齢者医療など)、公営企業会計6件(モーターポート競走事業など)の議案に反対



主な意見・要望 決算特別委員会委員長から議会に報告された主な意見・要望は次の通りです。

●事業評価

毎年度の決算において、本市の政策の進捗と成果を評価し、継続、強化、廃止等の取り組みの方向性を定めるべき。

●国家戦略特区

労働者の貧困促進につながりかねない、いわゆる給料前借り特区の提案を取り下げ、国家戦略特区から撤退すべき。

●釜山広域市との姉妹都市提携

慰安婦像の早期撤去等について協議し、眞の友好関係を築いていくべき。

●財政運営プラン

本市財政を破綻させ、市民の暮らしを壊すものであり、撤回すべき。

●ネーミングライツの活用

事業手法の調査を行うとともに、保有する財産等の活用方策を検討すべき。

●公共工事に従事する技術職員

インフラ整備がより安全に行われるよう、育成等の取り組みを強化されたい。

●地域コミュニティ

自治会や町内会に対し、長期的視点で物心両面の支援に努められたい。

●子どものためのスポーツ振興

子どもの体力向上等に寄与するとともに、コミュニティの形成にもつながるものであるため、推進していくべき。

●地域で取り組む子ども育成事業

子育てに関する地域力を評価し、子ども会などの事業主体を条例等に明確に位置づけて事業の恒久化を図るべき。

●生活保護

不正受給には厳しく対処し、未然防止策に取り組むとともに、早期脱却に向けて、自立支援を促進すべき。

●生活保護

住宅扶助の適正な支給に向けた工夫を継続し、

さらなる適正化を図るべき。

●人生100年時代を見据えたまちづくり

地域包括ケアの推進とともに、健康づくりを意識づけるための施策等にも取り組み、健寿社会の実現に努めるべき。

●肝炎の重症化予防対策

新しい治療法や助成制度について、より効果的に周知されたい。

●育児と介護のダブルケア支援

行政の縦割りを超えて、ダブルケアに焦点を当てる特別養護老人ホームや保育所への優先入所などを検討すべき。

●障がい者施策の取り組み

新たな制度の創設や既存制度の見直し、拡充等の際には、市民の立場に立った丁寧な対応をしていくべき。

●障害者差別禁止条例

関係団体や当事者の意見を反映させて、原案をさらに充実させていくべき。

●家庭水道における衛生管理

小規模貯水槽水道について、清掃や点検の義務化に向けて検討されたい。

●教職員の長時間労働の改善

授業のための教材研究や学校行事の準備時間、子どもと向き合う時間を確保し、専門性が發揮できるようにすべき。

●本市経済と市民所得

中小企業の支援とともに、賃金底上げが必要であり、都市開発や都市の成長を優先する政策から転換すべき。

●活力ある地域商店街の創出

地域に貢献し、存在価値を残したいと真剣に考える商店街の取り組みに対しては、集中的に投資を行っていくべき。

●九州先端科学技術研究所

取り組み内容や成果を市民にわかりやすく説明していくとともに、産官連携に積極的に関与していくべき。

●歴史文化を生かした観光振興

博多部には文化資源が多くあり、商業施設等との組み合わせにより、本市でのもう一泊につなげていくべき。

●訪日外国人に対する観光戦略と宿泊政策

史跡の整備等が重要であり、また、違法民泊を取り締まり、高級ホテルを誘致し、上質な都市の魅力をつくりだすべき。

●農業振興

市内産農産物の消費の拡大を図り、農家の所得等の向上につなげるとともに、農業を守り育てていく機運を醸成すべき。

●香椎駅周辺土地区画整理事業

大幅なおくれにより事業期間が長期化していることを反省し、早期の事業完了に努めるべき。

●地下鉄3号線延伸工事における道路陥没事故

市長はほとんど謝らず、交通局や事業者に責任を押しつけ、賠償責任を政治決着させるようなやり方は許されない。

●消防力

災害即応体制等の充実強化を図るとともに、消防団の充足率向上にさらに取り組むべき。

●災害時の電力対策

日ごろから非常用電源の確保に万全を期すとともに、災害発生時には電力供給の早急な復旧に努めるべき。

●ごみ処理施設

災害に強いごみ処理体制を構築するとともに、近隣自治体が被災した場合にも貢献可能な体制を実現されたい。

●道路照明灯

LED化を推進するとともに、新たな検査方法による総点検を実施するなど、予防保全的な維持管理を行うべき。

請願 今回の定例会で結論が出た請願

採択 ○長住中央公園の早期の再整備とソフトボール専用球場の多目的広場としての存続について

福岡市議会広州市友好訪問団の派遣

友好都市である中華人民共和国・広州市の議会にあたる広州市人民代表大会常務委員会に、11月19日から22日までの間、福岡市議会広州市友好訪問団(団長:川上晋平議長)を派遣しました。期間中、「都市のごみ分別、収集、運搬、処理について」をテーマにした交流協議を行うとともに、広州李坑生活ごみ焼却発電工場などの視察を行いました。



発行:福岡市議会 編集:議会事務局調査法制課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号
電話 711-4749 FAX 733-5869
メール chosa.CCS@city.fukuoka.lg.jp

ふくおか市議会だより次号は、5月1日発行予定です。

ホームページ

YouTube

Twitter



常任委員会の動き

(9月23日～12月20日)

委員会名	案 件
第1委員会 総合計画、国際交流、財政、地域コミュニティ、防災など	「福岡市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案」の議案審査など
第2委員会 子ども育成、社会福祉、保健衛生、教育など	「福岡市立背振少年自然の家に係る指定管理者の指定について」の議案審査など
第3委員会 商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備など	「福岡市中央卸売市場業務条例の一部を改正する条例案」の議案審査など
第4委員会 住宅、建築、都市計画、公園、消防、地下鉄など	「福岡市地区計画及び集落地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案」の議案審査など
第5委員会 環境・ごみ・リサイクル、道路、下水道、河川、水道など	「天神心れあい通り自転車駐車場に係る指定管理者の指定について」の議案審査など

特別委員会の動き

(9月23日～12月20日)

委員会名	案 件
交通対策特別委員会	○道路交通の円滑化に関する調査 ・都心部(副都心を含む)における交通混雑対策について ・都心部における自転車駐車対策について ・観光交通対策について
都市問題等調査特別委員会	○外郭団体のあり方に関する調査 ・外郭団体のあり方に関する指針の成案について
少子・高齢化対策特別委員会	○高齢化対策に関する調査 高齢者保健福祉施策の実施状況について ・第7期福岡市介護保険事業計画の策定について ・福岡市健康先進都市戦略の進捗について
議会改革調査特別委員会	○議会改革に関する調査 ・本会議・委員会の公開性向上に関すること ○議会基本条例に関する調査

※常任委員会・特別委員会での審査状況の詳細については、毎月発行の議会月報に掲載しています。議会月報は総合図書館、各区の図書館、情報プラザ(市役所1階)などで閲覧できます。また、市議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」にも掲載しています。(ホームページへの掲載には、約3ヶ月を要します。)
※常任委員会・特別委員会は傍聴することができます。(人数には限りがあります。)

【問い合わせ先】議会事務局議事課(市役所議会棟8階)
電話 711-4746 FAX 733-5869

次の議会(定例会)は2月19日開会予定です。日程は市役所・区役所・出張所・地下鉄駅構内のポスター、市議会ホームページやYouTube、Twitterに掲載します。